

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2017年1月17日 Spiegel オンライン版

### ■ ハンドルを握る年金生活者：保険会社が高齢者対象の運転試験を要求

Rentner am Steuer : Versicherer fordern Fahrprüfung für Senioren

高齢者は統計的にみて、ハイリスク層である運転初心者を上回る数の事故を引き起こしている。それにもかかわらず政治は運転適性試験の導入に二の足を踏んでいる。このたび保険会社の連盟が、まさにこのようなテストの必要性を訴える声を上げた。

ドイツ 2017年1月23日 Verkehrsrundschau オンライン版

### ■ 報告：2016年度のトラック課金、収入高で記録を更新

Bericht : Einnahmerekord bei der Lkw-Maut 2016

連邦政府は昨年度、トラック課金の徴収によって46億3,000万ユーロの収入を上げた。従来記録は45億ユーロであった。『フォークス』誌の報道によれば、この額から制度維持費と課金負担を相殺するための自動車税引き下げ分を差し引いた後、34億ユーロの資金が連邦遠距離道路の保全事業と拡充工事に直接投じられることになる。

ドイツ 2017年1月24日 連邦交通省

### ■ マスタープラン「建設4.0」が公表される

Masterplan Bauen 4.0 vorgelegt

アレクサンダー・ドブリント連邦交通相は、デジタル形式の計画方法であるビルディングインフォメーションモデル (BIM) の普及を目標とする「建設4.0」マスタープランを発表した。ドブリント連邦交通相のマスタープラン「建設4.0」は以下の5点からなる。①あらゆる交通機関においてBIMの実地試験を実施、②ドローン活用に向けての実験プロジェクト、③BIMクラウドの始動、④ドイツBIM研究拠点の創設、⑤建設研究クラスターの構築。

ドイツ 2017年1月24日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

### ■ 電動トラック：間もなく2つのアウトバーンに架空線を利用した電動トラックが登場

Elektro-Lastwagen : Oberleitungs-Lkw bald auf zwei Autobahnen

2018年にはドイツの2つのアウトバーンで架空線を利用した電動トラックが走行を開始する。道路の電動化は果たして投資に見合うだけの効果が挙げられるのか。計画中の実地試験にはこの点を明らかにすることが期待されている。

ドイツ 2017年1月25日 Verkehrsrundschau オンライン版

### ■ 自律走行への道を開く連邦政府

Bundesregierung macht Weg zum autonomen Fahren frei

内閣がコンピューターを人間のドライバーと同等に扱う法案を採択した。今後、自律走行中の車両のドライバーには、ネットサーフィンなどのためにハンドルから手を離すことが許可されるようになるという。ハンドル操作を「再び引き受ける」ことがドライバーに義務付けられるのは、コンピューターがそのような対応を求める

サインを出した場合や、たとえばタイヤのパンク等が理由で自律走行機能に支障が生じた場合に限られる。

ドイツ 2017年1月26日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ ドイツ交通公判会議、携帯電話利用禁止の拡大を要求

Verkehrsgerichtstag will Handy-Verbot ausweiten

専門家の見解に従えば、運転中は携帯電話と同様、他の電子機器の利用も禁止すべき。ドイツ交通公判会議（VGT）のカイ・ネーム議長は、このように提案した。たとえばタブレットの利用もそのような禁止の対象とされることが考えられるという。ネーム議長によれば、自動車ドライバー全体の57%が走行中に少なくとも時折はスマートフォンを利用するという。

スペイン 2017年1月27日 El País オンライン版

### ■ カタルーニャの道路料金引き上げ

Los peajes de las autopistas catalanas, más caros

2017年、国の管轄の有料自動車道路網では0.4%を超える料金値下げを実施する。一方、カタルーニャ自治州管轄の道路の料金は0.7～1.7%値上がりする。

イタリア 2017年1月30日 イタリア・アウトストラデー社

### ■ 運用エリア拡大を続けるテレパス EU がオーストリアに登場

IL TELEPASS EUROPEO CONTINUA LA SUA ESPANSIONE E ARRIVA IN AUSTRIA

2月1日から、相互運用に対応した新型のETC車載器テレパス EU（Telepass EU、3.5トン以上の大型車両専用）が、オーストリアでASFINAG社が運営する料金徴収システム（GO サービス）に対応することになった。すでにイタリア、フランス、スペイン、ポルトガル、ベルギー（リエフケンスフク・トンネル）、ポーランド（A4号線カトヴィツェ〜クラクフ区間）では使用可能で、このエリアでは唯一の相互運用型ETC車載器となっているテレパス EUのおかげでテレパス社は国際的な自動車運送業界における地位を確立した。同社は国際市場における大きなシェアを獲得し、欧州の相互運用型ETC市場における先発者優位性を構築すると同時に、システムのパートナー企業には道路料金の電子式徴収の仲介業務において高水準なサービスの提供を約束している。

スペイン 2017年1月30日 Cinco Días オンライン版

### ■ 2016年、スペインの有料自動車道路の交通量は5.5%増加

El tráfico de pago en las autopistas españolas creció un 5,5% en 2016

小型車は5.8%増加し、1日平均は13,826台となった。昨年度中は料金所を通過するトラックも増加して3.85%、大型車の1日平均は2,029台に達している。スペイン建設企業協会（Seopan）によれば、合計ユーザー数は5.55%増加した。

フランス 2017年1月31日 VINCI

### ■ 高速道路投資計画：ヴァンシ高速道路会社、沿線地域のモビリティ向上のため25件の工事を実施

Plan d'investissement autoroutier : 25 opérations en faveur de la mobilité dans les territoires seront réalisées sur les réseaux de Vinci Autoroutes

2016年7月28日のオランダ大統領の発表に従い、ヴァンシ高速道路会社は2017年1月26日、4億3,200万ユーロの高速道路投資計画を国と締結した。この計画では、フランス南部高速道路会社（ASF）、高速道路財務産業会社（Cofiroute）、エステレル・コート・ダジュール・プロヴァンス・アルプ高速道路会社（Escota）が管

理する各高速道路で沿線地域のモビリティの向上を図るため 25 件の工事を実施することを予定しており、19 カ所のインターチェンジの整備を通して特に都市および都市周辺部の交通環境を改善する。

ドイツ 2017 年 2 月 2 日 Zeit オンライン版

### ■ 自律走行：ドライバーが運転を再開するまでの 26 秒

Autonomes Fahren : 26 Sekunden, bis der Fahrer übernimmt

運転再開を促すサインが出されてから実際の交代までにかかる時間の長さには、著しい開きがあった。最も優秀な被験者の場合には、雑誌を見ていない場合には 2 秒足らずで、読書中であっても 3.2 秒で交代が可能であった。その一方、最も遅い被験者は 25.8 秒を必要とした。「交通における人的要因」研究講座のリーダーであるネヴィル・スタントン教授は、「開発者にとっての課題は、ばらつきのある反応時間のいずれにも対応できる解決策を探ることです」と語る。

ドイツ 2017 年 2 月 10 日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■トラック課金の拡大計画、採択

Weg für ausgeweitete Lkw-Maut frei

課金制度拡大法案が連邦参議院を通過した。トラック課金は 2018 年の半ばから、住宅密集地の外のより小規模な一般道路にも適用されることになる。課金対象から除外されるのは、時速 40 km よりも速く走行することのできない農業用車両のみとなる予定だ。